






ディーゼルエンジンの PM 強制再生制御方法 (エンジン型式 : 1KD-FTV)

1.	DPR インジゲータランプが点滅している場合に以下の作業を行います。
	MIL 点灯および DPR インジゲータランプが点灯または点滅している場合は、PM 過堆積なので PM 強制再生制御を 2 回連続で実施します。
2.	TPM1000 を診断コネクタに接続します。
3.	エンジンを始動し、暖機します。
4.	TPM1000 の画面表示に従い、[診断]→[トヨタ]→[作業サポート]→[ECD]→[PM 強制再生制御]の順で進み、PM 強制再生制御を実施します。
	<ul style="list-style-type: none"> PM 強制再生制御中は排気ガス温度が非常に高温になるので、車両付近に近づかないようにして下さい。 PM 強制再生制御中は排気管が非常に高温になるので、燃えやすいものを車両周辺に置かないようにして下さい。
	<ul style="list-style-type: none"> PM 強制再生制御は約 30~40 分で終了します。 故障コード P2002/94 が記憶されていると、フェイルセーフにより出力制限が働き、PM 強制再生制御が禁止されます。このとき、EFI ヒューズ又はバッテリーターミナルを切り離し、60 秒以上経過後に接続すると PM 強制再生が可能になります。 P2002/94 が記憶されておらず(チェックエンジンウォーニングランプ消灯)、DPR インジゲータランプが点滅している場合は、EFI ヒューズまたはバッテリーターミナルを切り離す必要はありません。

5.	<p>PM 強制再生制御が終了したら、アイドル〜無負荷最高回転のレーシングを 10 回行い、DPR 触媒の溶損・破損を点検します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 黒煙の排出が 5 回 (*1)未満の場合は、PM 強制再生制御完了となります。 黒煙の排出が 5 回 (*1)以上の場合は、DPR 触媒が溶損・破損しているので、エキゾーストパイプ ASSY FR(DPR 触媒)を交換します。 <p>*1 レーシング中に黒煙が薄くなっても、目視できる場合は 1 回として数えます。</p>
	PM 強制再生後は排気管温度が非常に高温になるので、排気管の交換作業は十分に冷めた状態で行うようにして下さい。
6.	PM 強制再生制御完了後はエンジンオイルレベルの点検を実施します。
	エンジンオイル量が Full レベルを超えている場合は、エンジンオイルを交換します。